

# 【 第20回女子ジュニア世界選手権 】

2016年 7月 3日 ~ 17日

ロシア ・ モスクワ

## 試合結果報告 7 月 12 日 ( 月 )

JAPAN	VS	ROU
13	前半	16
18	後半	16
	第一延長	
	第二延長	
31	合計	32

### 個人得点

No.	名前	前半	後半	合計
1	中野 智佳			0
2	藤田 明日香	6	3	9
3	三橋 未来	1	3	4
4	高杉 桃加			0
5	河原畑 祐子		4	4
6	和田 涼夏			0
7				0
8	斗米 菜月		3	3
9	佐々木 花江			0
10	伊地知 美姫			0
11	登川 愛			0
12	神谷 怜名			0
13	山口 絵梨香		1	1
14				0
15	澤井 咲良			0
16	大沢アビ直美			0
17	青 麗子	5	3	8
18	渡部 真綾	1	1	2
	合計	13	18	31

試合結果

### 戦評

いよいよ決勝トーナメント。Cグループ1位のルーマニアとの決戦。試合前ミーティングで辻監督の激によりチーム一丸となって臨んだ日本は、開始直後からOFで全員が良く連動し、狙いとしていたポストプレーで青が連続得点を決める。DFからの速攻も繰り出し藤田のゴールで開始5分3 - 3とハイペースの試合となった。ルーマニアに先制されていくも、ルーマニアオフェンスに対し日本の5-1DFシステムが機能し、開始10分間完全に日本ベースの内容であった。内容は良かったがシュートミスなどでチャンスを逃し10分3 - 7と離されたところでタイムアウト。ルーマニアエース番にマンツーマン気味にアタックするシステムを再確認。DFで運動量がルーマニアを上回り、逆速攻で藤田、渡部のロングでしぶとくついていく(15分:6 - 11)。15分過ぎからさらに日本は加速し、青のポスト、藤田の速攻などで21分11 - 13と追撃。ルーマニアたまたまタイムアウト。その後もGK大沢が安定したキーピングを見せ、一進一退の展開が続く中、25分まで5得点と活躍の青が負傷退場となってしまふ。しかしOFで斗米と山口が良く連動し粘り強く13 - 16で喰らいついて前半終了。

後半に入っても日本のチームの動きは良く、34分14 - 17でルーマニア退場のチャンスもパスミス・キャッチミスで逆に点差を広げられてしまった(38分:15 - 21)。斗米のカットインや青のポストで得点するも力のあるルーマニアのOFに徐々に押し込まれ41分14 - 20。誰もがやはり敗戦との雰囲気となる中、ここから日本チームだけは諦めない。三橋を中心とした運動量のあるDFでルーマニアに得点を許さず、藤田のサイド、河原畑の速攻、青のポストで42分21 - 24と追撃。さらに日本チーム退場7mTのピンチも46分GK中野がビッグセーブで流れを引き寄せ、ここから7分間で河原畑・斗米のカットインなどで猛攻。53分三橋の強気の速攻で27 - 27と遂に同点。懸命のDFで失点をされず、山口のサイドで55分28 - 27逆転に成功する。ルーマニアをぎりぎりまで追い詰めるが、強引なカットインに押し切られ7mTなどで残り1分30 - 31再逆転されてしまふ。残り42秒タイムアウト。最後の攻撃となった日本が選択したのはチームプレー。スペクタクルなスカイプレーをキャプテン河原畑が決め、残り18秒で奇跡の同点とする。しかしルーマニアの最後の捨身の攻撃に残り3秒ゴールを奪われジャイアントキリングならず。31-32、一点差の大変悔しい敗戦となった。

報告記入者 :

岡本 大